



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球首脳、政府高官）（44.1.29ニクソンの対アジア政策（天川元慶応大学教授談） 外務省外交史料館レファレンス番号：H221354）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(5) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

44.1.29

ニッソンの対アジア政策

(天川 元慶) 元慶の大学教授録

内閣調査室の杉谷調査官
杉谷調査官(指)

北米一課長

内閣調査室杉谷調査官内話

49. 1. 30

北米一課

内閣調査室の杉谷調査官は1月29日
北米課を来訪。国際情勢研究会の

月例講演会に天川教室の天川元
唐応大学教授(かつてのロッキード、クラ

マソの主力戦機種選定事件の立役者。
昨年12月渡米ニクソン・ブレイクと接触

打診。)を招いてニクソンの対ソソ
政策について講演をして貰ったと云う。

沖縄問題に関する発言の要旨は次の
とおりであった旨述べた。

1. ニクソン政権はソ連の地域的集
団防衛に際しては米国の介入に消極

的で、自国の国益に合致する場合に
のみ援助を行なうであろう。実際は

地上軍の派遣は行なわす。海空軍
の投入のみを行なうであろう。

2. ソ連の安全保障体制では日本が
中核的役割を果そう。沖縄の返還

に關してはわが国から反対給付を求
めれば米側は~~承諾~~返還に同意
本土並み

よ。反対給付の内容は自衛
隊の沖縄派遣、具体的には米軍が
韓国救援等のために出陣を引受けるに足る以上

陸上自衛隊 2個師団

航空自衛隊 1個ウイング(約75機)

海上自衛隊 ^駆 駆逐艦 12隻

兵員総数 4万名

である。

3. この自衛隊増強の経費は700~1,000億円に達する見込みである。

(定員増強)

自衛隊の増強に際しては、大蔵省は、現在でも隊員充足率が100%に

達するに及ばないことにも気がつき、対策を講じている。しかし

なお、考案は小役人のことばかりの問題に止まっている。沖縄返還の

ためには防衛増強努力の姿勢を示すことが肝要である。本年も有用

防衛庁は官邸と田中大臣と互に話し合っており、6,000名の定員増を実現

して来た。